

事例発表



毎年、3月に社会福祉法人 清光会で職員による事例発表が開催されています。私は今回初めて清光会の事例発表に参加し、自閉的傾向の強い方へのPECSを用いた支援事例の発表をしました。

PECSについて簡単に説明させていただくと、絵カード交換式コミュニケーション法で、自閉傾向の強い方に対して自発的に会話を促す方法です。日常生活において言語が伝わりにくい方にカードを用いて話しながらカードを指さしていただくことによりご自身の言葉を伝えるという支援を昨年5月より実施してきました。このPECS法は、以前研修に行かせていただき学んだ方法です。最初は、このPECSがこの方に合っている支援方法なのか、自分自身で取り組みました。確証を得た時点から他の職員に協力をしてもらいながら、対象の方にカードの使い方を見て覚えて頂く事から始めました。根気よく伝える事で今では、「おわりました」「仏花作業をします」「シールをください」とご自身からの言葉として職員に伝える事が出来るようになっていきます。

私が一番うれしく思ったのは、朝通所する時に「お母さん、バイバイ」「お父さん、バス来

た」と話されるようになった事でした。ご自身の言葉でご自身の気持ちを伝えるという事は、自閉傾向の強い方からすると大きな進歩に繋がったと同時にご家族からもご自宅でも会話が少しずつできるようになったと大変驚き喜ばれていました。

私が常に感じている事は、どのご利用者の方も今後生きていくうえで社会とどのように関わって生きていけるかという事です。様々な関わりの中で少しでもご自身の気持ちを伝えられ、その方の世界観が広がればと思います。この支援(PECS法)はまだ始まったばかりですので、まだまだ、これから文字カードも増やしていかなければならないと考えています。そして、どのご利用者の方に対してもその方に合った支援方法を模索し実践していきたいと思っています。

今回の事で学んだ事は、支援とは流動的なものであり、その時その時のご利用者様の状態に合わせて変更し、職員同士が連携をとって統一した支援を行い、上手いかない時でも諦めずに新たな手段を模索し、粘り強く行っていく事がとても重要であるという事でした。

礒谷 恵美

2班調理実習

2月27日(火)

ご利用者 11名、職員3名参加

メニュー：マーボー豆腐、ギョーザ、白玉デザート

レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センターにて調理実習を行ないました。事前にミーティングを行ない、何を作りたいか皆で話し合いました。

今回のメニューは、マーボー豆腐、ギョーザ、白玉デザートに決まりました。皆さん、上手に作れるか、美味しく出来上がるか不安そうでしたが、3つのグループに分かれてそれぞれ野菜を切ったり、お皿を並べたり、和気あいあいと調理されていました。ギョーザを包むのが難しく、中身がとび出たり形がいびつになったりもしましたが、包めたと皆さん喜ばれていました。ギョーザの餡が余ったので、もう一品スープも追加で作りました。各グループそれぞれの味付け、盛りつけで美味しくでき、皆さん満足されている様子でした。デザートに白玉だんごをこね、それぞれ好きなトッピングを加え、最後まで楽しく調理ができていました。次は「これが作りたい!!」など次の調理実習も楽しみにされていました。

泉 美咲



3班おやつ作り

3月27日(火)

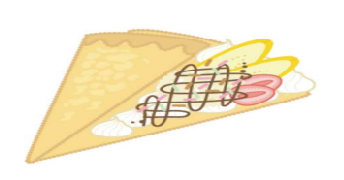
ご利用者19名、職員5名参加

メニュー：クレープ作り

今回、3班のおやつ作りは、事前に皆さんの希望を募り、クレープ作りとなりました。

ホットプレートでクレープ生地を焼き、トッピングには今が旬の苺にバナナ、ホイップクリームにアイスクリームと盛りだくさん! 何ともゴージャスなおやつタイムとなりました。今回、事前の買い物にも数名の方が参加して下さい、セルフレジの体験をして頂きました。当日も卵割りやハンドミキサーの使用が初めてという方もいらっしゃり、とても良い経験をして頂けたのではないかと思います。クレープも美味しそうに出来上がり、皆さん「おいしいな~♪」「また作りたい!」と笑顔いっぱい召し上がられていました。

光岡 瞳



旧向井家住宅のひな祭り

